



あなたのカルマ鑑定書
～運命の人と出会えないのは？
人生の旅とソウルメイトの深い関わり～

Ms K□□□、N□□□

Kさん、こんにちは。

この度はご依頼いただきましてありがとうございます。

そして鑑定書のお届けが遅くなり大変申し訳ございませんでした。

ただ自分の中で納得がいく鑑定書ができました。

この鑑定書がお役に立てれば幸いです。

鑑定書を作成させて頂いて強く思ったことは、

今Kさんがいる場所はちゃんと正しいということです。

パートナーとの出会いもはるか遠くにあるような感じではなく、

身近に在るように感じます。

「夜明け前が一番暗い」

今はこの状態なのかなという感じがしました。

なので身体を休めること、心を癒すことという今の状態を受け入れていくこと、

これが人生の流れを良くする一番効果的なことです。

今とても大切な時間を過ごしていらっしゃる、ということは強く申し上げますね。

さていろいろな情報を過去世という側面からと

ホロスコープという側面からリーディングさせていただきますね。

まず初めに前世からみてみますが、ここで前世について少しお話させてください。

人間はたくさんの前世をもっており、平均で100前後と言われています。

正確な数字がわからないのは、私の場合、

今の現時点で関係のある前世しか見られないからです。

ほかの情報はシャットアウトされます。

ですので、ここで私が述べる前世というのは、

今の人生の一つ前の人生ではなく、

今抱えていらっしゃる問題に対しての解答になる前世になります。

もう一つ、

実はこの世には、〇〇(有名人)の過去世だった人がたくさんいます。

なぜかというと、魂は肉体を離れると、

一つ一つ分離している状態は長く続かず、

すべての根源に一度溶けこむからです。

それにご了承頂きたいこととして、

詳細な地名や年数が出るときと、出ないときがあるということです。

では早速、魂の系譜を紐解いてみましょう。

時代は1900年代、比較的新しいようです。場所はヨーロッパ周辺。

おそらく第一次世界大戦頃のことではないでしょうか。

となると、すぐ前の過去世ということになります。

Kさんは30代そこそこの男性で、軍人です。

立場としては中間管理職のような立場で、部隊の長をしています。

彼が率いているような部隊がいくつもあり、大きな部隊を成している、

そしてそんな大きな部隊がいくつかある、そんな形態です。

彼は自分の上官をととても尊敬していたようです。

若い頃の彼は、真面目さが裏目に出て、自己主張が上手にできず、

損な役回りを度々していました。立ち回りが下手だったのです。

不器用なところもあり、一生懸命やっても空回りをしたりして

仲間からも見下されたりすることもあったようです。

でもその上官は彼の“そういうところ”に的確にアドバイスをし、

改善していくことができることを教えてくれました。

さらに彼の長所をきちんと見て褒めてくれる人でした。

また、他の人たちと違い、誰かを見下すことなく

平等にみんなに接している、人間的にとっても立派な人だったのです。

軍事訓練では厳しいこともありました、普段は気さくで楽しい上官です。

周りからも信頼ある上官、彼もその上官をととても尊敬していました。

彼は上官を尊敬する気持ちを持ちながら真摯に仕事に向き合ってきました。

失敗して地の底まで落ち込むことは多々ありましたが、

そのたびに上官の励ましで乗り切っていました。

数年後、彼は少しずつ仕事を上手にこなせるようになっていきます。

コツをつかむまでは少し時間がかかったようですが、

一旦掴んでしまうと射撃、戦闘時の判断能力、現場での動きなど

色々なことが上手になっていきました。

能力的にずっと追いつけくことができなかった同期たちにも能力が追いつき、

やがて追い抜いていきました。

彼のことを小馬鹿にする人はいなくなりました。

そして彼は数人のグループをまとめる長になったのです。

そんなある日、あるときからかつてないほどの大きな戦争が始まりました。

彼の部隊も当然出動です。

様々な困難をかいくくりながら戦場で戦っています。

劣勢と優勢を繰り返しながら、彼の部隊、その上の部隊が一丸となっています。

あるとき彼は上官に呼び出されました。

部下のほとんどをある場所へ行かせよ、という命令でした。

ただその場所はかなり戦闘が激しい危険な場所として認識されています。

軍隊ですから上からの命令は絶対服従ですが、

彼は部下をとても大切にしていたので、上官に派遣理由をたずねました。

上官はとても真つ当な理由を述べて彼を諭しました。

それに危険なことは無いようなことも言いました。

それを聞いた彼は、上官が言うことですから承諾します。

その命令には彼はその場所に行ってはいけない、ということも含まれていました。

部下を送り出す前、彼は一人一人と話をし、部下の不安を取り除いていました。

彼の部下もまた彼を信頼し、隊員として誇りに思っていました。

そしてほぼ全員がその場所に出発していきました。

彼は他の部隊に入り、引き続きさまざまな仕事をしていました。

でも当然、自分の部下のことは気になります。

毎日毎日、安否の確認をし、部下の無事を心の中で祈っていました。

ただ中々部下たちの情報が入っては来ず、分からないことも多いようです。

部下たちを送ってからしばらくすると、ほとんど情報が入ってこなくなりました。

彼は上官に確認したりしていました、情報はつかめません。

そして数ヶ月後、部下のほとんどが亡くなったということがわかりました。

彼は部下たちが亡くなってからすぐに知ったわけではなく

ずいぶん後から知ることとなります。

上官が部下の死を知らされないというのは、かなり稀で、彼は愕然とします。

彼は上官に何があったのかを教えてほしいと懇願するも真実はみえてきません。

上官の態度も彼が尊敬していたそれではないのです。

彼は絶望に近い感覚に打ちひしがられながらも理由を解明しようとします。

でも長といえど末端。彼に情報が入ってくることはありませんでした。

ただ部下たちは何か利用されたということだけはわかったようです。

信頼と尊敬をしていた上司に騙されたような絶望。

自分の浅はかさで多くの部下の命が犠牲になった絶望感。

それに苦しめられて自死ではないですが、それに近い形で命が終わっています。

これが一つ目の過去世です。

二つ目もみてみましょう。

笑顔がとびっきりかわいい可憐な奥様、

それがKさんの過去世の女性です。

ご主人とKさんの過去世の女性である奥さん、子ども3人、

ご主人の父母との家庭です。

奥さんは楽しそうに家事をしています。

子どもにも深い愛情を注いでいます。

ただ以前は女性だからといって家の奥にいることに

少なからず不満を抱いていました。

時代は1500年代でしょうか。

女性は家にいて家のことをするのは当たり前時代です。

でも行動的で頭の良い彼女にはその生活はとてつまらないものでした。

お金持ちでもない一般的な家庭の女性ですから

その時代に何か大きな影響を与えるということではできなかったのですが

教えられたことはすぐに吸収し、応用できるような頭の良さがありました。

てこの原理を使い、母親の家事労働を軽減したりといったこともあったようです。

両親は男に生まれていたのならよかったのに、、、と思うほど利発でした。

でも彼女は女性です。この時代は生き方は選べません。

年頃になり、お嫁に行くことが決まりました。

相手も同じような家柄の一般家庭の男性です。

初めは慣れない生活、平凡な繰り返しにウンザリしていましたが、

ご主人がとても良い方で、彼女の頭の良さをとても認めていました。

ですので、彼女が好きそうな世間の話などを聞かせたり、

少しずつ溜めたお金で彼女の好奇心をくすぐる本などを

買ってあげたりしていました。

彼女は初め、そんな旦那さんの行動を当たり前だと思って

その話や本などの自分の興味にのめりこんでいましたが、

あるとき旦那さんが自分にプレゼントするため少しずつお金をためていること

自分を受け止めてくれていることは、とても恵まれていることに気が付きます。

そのときから彼女は自分の立場を自分なりに理解し、

自分のいる場所で楽しく生きることを決めました。

そうすると、やっていることも楽しい、家族の笑顔が増えるし

とてもいいことなのだということを理解します。

ご主人は彼女のそういう物事のとりえ方、そして頭の良さがとても大好きで、

彼女の役に立ちたいと思っていたようです。

本当は彼女の才能が活かせるようにサポートができればいいなと思っていました。

ただ自分にはそれだけの力はないことを悲しんでいました。

ご主人は彼女よりも少し年上で、彼女よりも早くに亡くなります。

もう先は長くないある日、ご主人は彼女にこういいました。

「生まれ変わってももう一度君に会いたい。

今度は君がもっと輝くようにサポートしたい、ありがとう」と。

過去世のリーディングはここまでです。

つぎに占星術の面からKさんを紐解いて見ましょう。

Kさんのホロスコープのテーマは「精神世界の探求」だと言えます。

そのことを頭の片隅の置いて少しずつみていきましょう。

まず太陽が共感のハウスである8室にありますね。

これは深い孤独感を経験することによって再びその分離から目覚める
ということを表しています。

他者、自分という枠を取り払うことが本当の自分を知る方法だと知っています。

今は混乱の中にいらっしゃいますが、それは計画の内ようです。

その太陽がMCとアスペクトをとっています。

分離から目覚めるにつれ、Kさんの社会的な立ち位置が見えてきます。

分離からめざめるということの意味は、思考と感情を受け入れていくことで、
心が理解していくはずで。

次にMCがアスペクトしている12室の冥王星。

12室は潜在意識や集合意識(宇宙意識)の部屋ですね。

ここに破壊と再生の冥王星があるということは、

意識が破壊と再生を繰り返すことにより、それはつまり探求することにより、
より大きな意識へと拡大をとげていきます。

いずれ精神世界の究極の形、「悟り」もやってくるのではないのでしょうか。

その冥王星がMCとアスペクトをとるということは

社会的な立ち位置に大きな影響がある、ということでもあります。

ただ冥王星がASCの近くにあるため、

自己をとて激しく失いやすいということはいえます。

そして精神世界のハウス9室に土星があります。

土星は試練の星と呼ばれ、できれば逃げたい、避けたいことを表しています。

それは未知の世界に入ることに對する強い怖れでもあります。

常識で狭められた世界を一つ一つ壊すことでKさんの道が開けてくる、

人生が開けてくるようです。

怖れを感じながらも前に進んだ時、

自分の中でその怖れを包み込む意識の変容を感じるはずで。

その土星がコミュニケーションのハウス3室の海王星とアスペクトをとっています。

この海王星が意味することは、Kさんの非言語を感じ取る高い能力です。

人の言葉そのものよりも、その言葉が発せられたエネルギーのようなものを

読み取る才能があります。

人が嘘をいっているということがかなりの確率でわかるのではないのでしょうか。

土星と180度の角度をとっていることから、

小さい頃から無意識で人の裏の思惑を感じ取ってしまい、

心を閉ざすようになった、あるいは人を信頼できなくなったのかなと思います。

それが土星の指す大きな怖れでしょう。

人への信頼を取り戻す、太陽のところでもいいましたが、

分離を癒すことでKさんの行くべき場所に自然と行けるようです。

最後にパートナーシップの部屋7室の水星ですが、

Kさんの知性、知識を最大限に活かすことで

ソウルメイトの出会いの扉が開いていきます。

「自分には出来ない」「どうして自分が？」という思いを一旦脇におき

怖れに飛び込みながら、未知の世界を経験することを選択してください。

Kさんのホロスコープのアスペクトはハードなものが多いので、

なかなか前に進めずに人生が停滞しているように感じているかもしれませんが、

一旦流れにのると、今までの強い負荷が一気にサポートに向かいますから。

以上がリーディング内容になります。

.....ま と め

■ あなたの過去世は

一つは、1900年代ヨーロッパで軍人として生きていました。

一つは、1500年代に生まれた一般女性でした。

■ あなたの選ぶべき生き方は？

アレルギーやアトピーがひどいということをご質問いただいていたのですが、

強い罪悪感と絶望感が大きいようです。

それは自分を信頼してくれていた部下たちの命を

誤った情報で失わせてしまったこと、

それに対して責任をとるわけではなく、自死という形で逃げてしまった罪悪感、

そして上司への絶望感です。

絶望は生きることを拒否していることにもつながりますので、

身体がアレルギーやアトピーがひどいのは生きていることに対する絶望感と

罪悪感はあるのかなと思います。

この軍人の男性の魂はKさんの一つ前の過去世のものですから

より一層強い影響があるのかもしれませんが。

二つ目ですが、この過去世の裏に流れているメッセージは

今生は持っている才能を出していく番ですよ、ということのようです。

生まれた時代が悪かったのですが、それでも生き方を試されているわけですから

この女性の生き方は100点満点なようです。

なので次のステージに行く、つまりは今度は家の中ではなく、

もっと広い社会という場所での生き方を充実させていくということのようです。

以前「平凡な家庭を持つことだけでいい」というようなことをおっしゃっていましたが、

それはこの過去世がとても心地よかったからではないでしょうか。

でもそこはもう卒業のようです。

そしてこの過去世ででてきている男性がソウルメイトである可能性は高いです。

彼は家の中で眠らせてしまっている妻の才能を活かしてあげられなかったことを

後悔していますので、今度は違う形で会いたいと思っているようです。

社会で生きる場所をみつけることで、彼に会う流れができてくるようです。

ホロスコープでも人との強い分離感を統合する方向に行くことが必須だといっ

ていますよね。そしてそれがKさんのやるべきことに進む勇気を与えます。

今は真っ暗闇の中にいるようですが、リーディングさせていただいて、

道は開きつつあるように確信しました。

2017年7月15日

こんにちは、中村まみです。

リーディングはいかがでしたか？恋愛は私たちの人生に大きく影響しています。だからこそ人生のいろいろなところと繋がっています。今痛みを感じているなら、それは過去世のものではなく、『今』なのです。そしてその痛みは、あなたの運命の人と必ずどこかでつながっています。

私をご提供しているセラピーは過去世も含めた癒しを起します。

「今」のご自身からみつめて、痛みを解放していけば過去世も含めて癒されます。それが「今」のとてもすごい力です。

なので、過去世はあくまでも今につながるツールの一つとして、考えて頂ければと思います。

痛みの解放に有効なこと、愛する人に出会う方法、下記のブログにたくさん書いていますのでご参考になると幸いです。

『アダルトチルドレンから卒業し素敵な恋愛を運命の人とするセラピー』

<http://soulmatelesson.com/>

『復縁セラピーで元彼にもっと愛される潜在意識の法則』

<http://fukuenterapy.com/>

『非二元から纯粹非二元へ～奇跡講座を通して輪廻転生を超える』

<http://acimlessons.blog.fc2.com/>